

オランダ・ドイツ・デンマークにおける さまざまなリノベーション、コンバージョン建築

アムステルダム（オランダ）

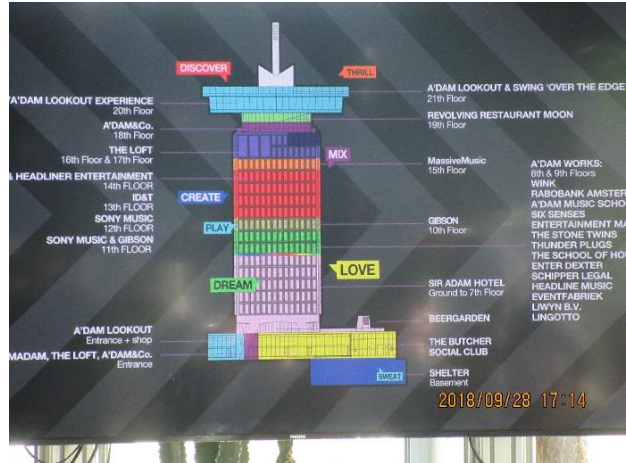
アムステルダム・タワー

ロイヤル・ダッチ・シェルのオフィス（1971年築） ⇒

アミューズメント性を持つ展望施設+ミュージック系のオフィス+レストラン+ナイトクラブ+ホテル



アイ川を隔てた対岸の中央駅からの展望



コンバージョンのコンセプト



屋上展望台から対岸を望む



テナントのギブソン・ショップ

ウェスト・ガス・ファクトリー

石炭ガス製造工場（放置され続けてきたブラウン・フィールド） ⇒

クリエイティブ企業の集積地、イベント・スペース、ホテル、レストラン、バー、市民の憩いの場



ガス貯蔵施設を利用したイベント・スペース（外観）



同左（内側）



「エコ・セクシー」をコンセプトにしたサステイナブルな
“コンシャス・ホテル”



施設内にはこのような川や池とフット・パスが多数あり
市民の憩いの場となっている

コンプレックス50

オランダにおける住民参画型の団地再生事例



1階と2階部分一部を減築しピロティとし、屋上は増築



既存の住宅との調和が図られた敷地内の新築住棟

デュドック・ハウス

1940年代築の団地再生＝取り壊しの危機からの復活



中庭を囲む形で建物を配置、張り出しバルコニーはスチール製



住棟角にはエレベーターを設置（ガラス部分）



後付けのエレベーターへと続く新たな外部動線を設置



外壁はきれいに磨き上げられた

ロッテルダム（オランダ）

ユストゥス団地（シュパンヘンの集合住宅）

空中歩廊を持つ荒廃した１９２０年代の社会住宅を、世界遺産登録し再生



３階部分の回廊からの眺め



団地内のコモンスペース



中央棟（内部には共同浴場、洗濯室など設置された）



団地入り口（治安上ゲート・コミュニティ化されている）

シントヨブス

港湾地区の倉庫 ⇒ 高級集合住宅＋商業施設



運河側の外観（こちら側に船舶が横付けされていた）



同左、カンチレバー下1階部分前には貨物線の線路跡が残る



住宅内部（重厚な梁と柱がかつての倉庫を彷彿とさせる）



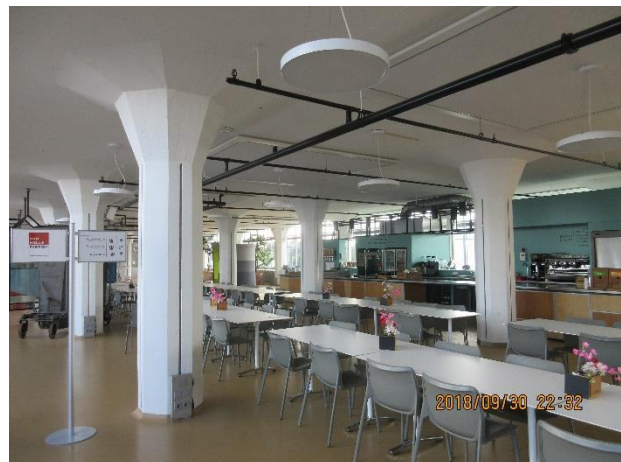
吹き抜けのエレベーターと階段室

ファンネレ工場

タバコ、コーヒーなどの工場 ⇒ デザイン・センター＋商業施設
（オランダ機能主義建築の最高傑作）



世界遺産登録を受けた工場建築

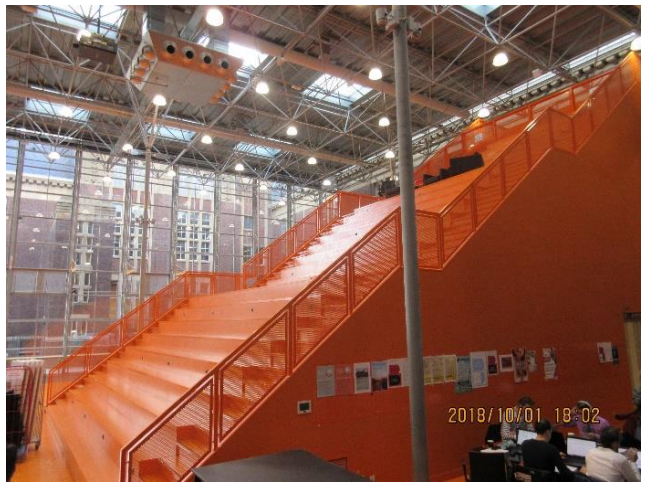
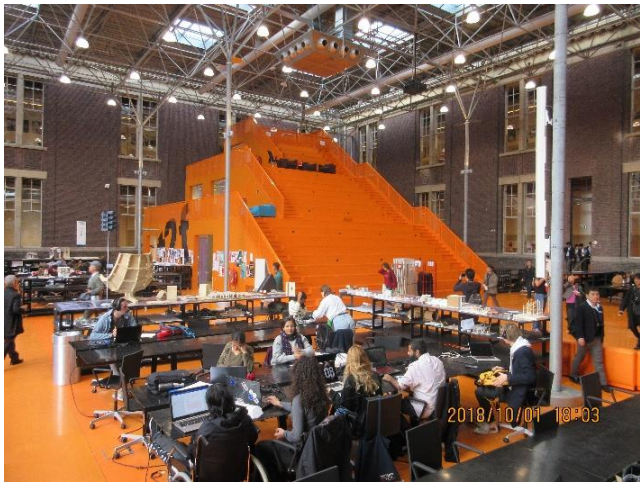


現在はイベント・スペースとして活用され最大収容は2000人

デルフト（オランダ）

デルフト工科大学 BK シティー

大学事務棟 ⇒ 工房＋プレゼンテーション・ホール



ポプタホフ（1960年代の社会住宅団地の再生）



ペディストリアン・デッキを設け、下部は駐車場へ
およそ1000戸のかつての社会住宅を、60%の社会住宅を含む1400戸の団地へと再生



広々としたコモン・グリーン、団地の周りは運河で囲まれる

デュッセルドルフ近郊（ドイツ）

シラー・パーク

荒廃した「廃炭地区団地」の再生／@オーア・エルケンシュヴィック



ツォルフェライン炭鉱遺跡

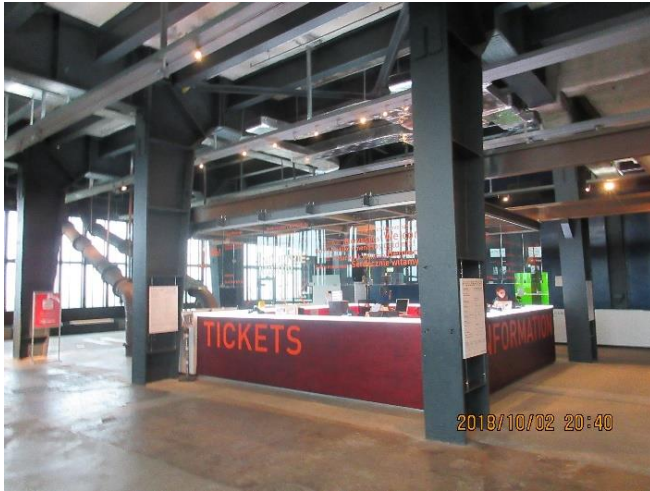
廃炭地区の産業遺産 ⇒ 博物館＋レストラン＋イベント・スペース／@エッセン近郊



世界遺産のシンボル「縦坑跡」



施設内にあるレストラン



博物館のチケット売り場



オープン・スタイルのカフェ

ケルン（ドイツ）

ライナー・ハーフェン

荒廃した港湾施設 ⇒ オフィス＋集合住宅



ライン川沿いのかつての穀物倉庫を138戸の集合住宅へ用途転換



新しく作られた3棟のランドマーク建築「クランホイザー」

ナウマン団地

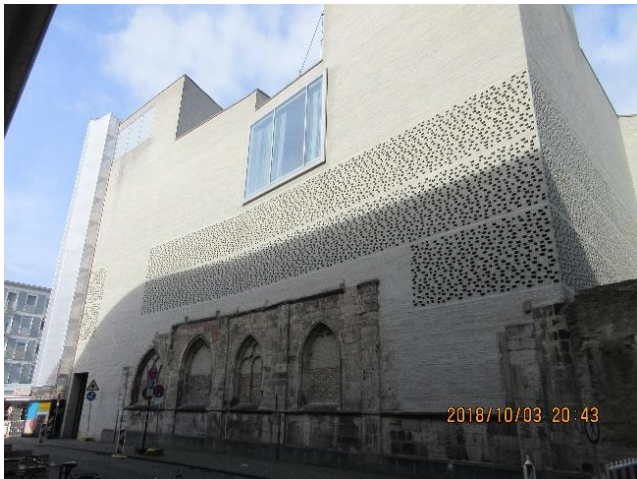
1920年代の低所得者向け賃貸集合住宅を「保存建築」に指定し、若者に人気の“ノスタルジー漂う集合住宅”へと転換・再生





聖コロンバ教会ケルン大司教区美術館

廃墟となった教会大聖堂 ⇒ 中世の遺構を活かした美術館



第二次世界大戦により破壊された教会（中央部分）を囲んで建築



ローマ時代の遺構を展示

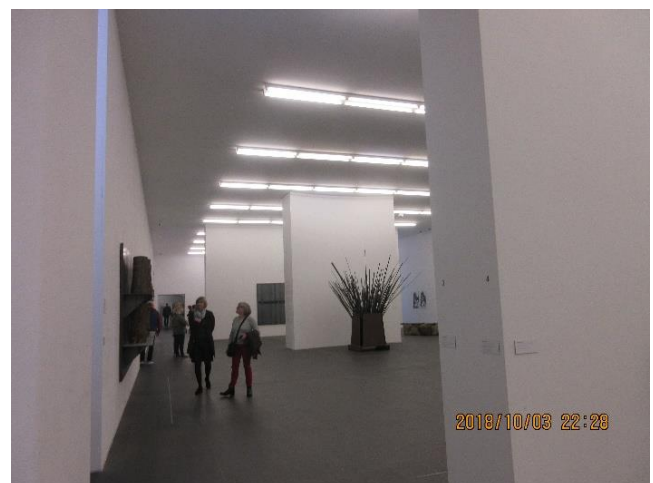
デュースブルク（ドイツ）

デュースブルク近代美術館

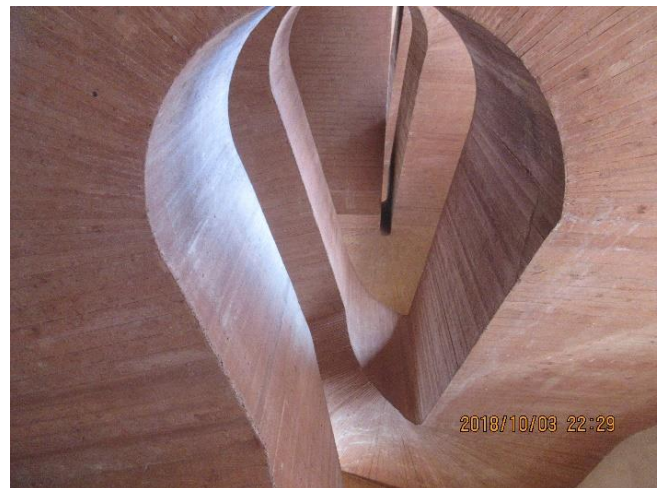
製粉工場 ⇒ 近代美術館



1909年に製粉工場として竣工されたファサード



展示スペースは白を基調とした単調なボックス・スペース

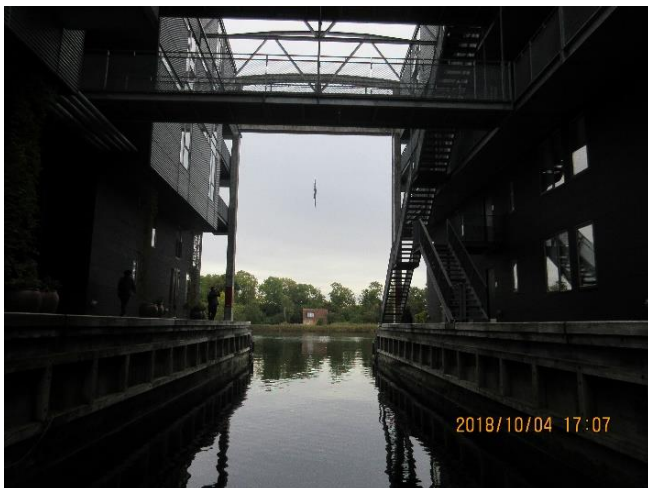


階段室は暖色系のコンクリート躯体でデザイン性に優れる（上方より） 同左（下方より見上げる）

コペンハーゲン（デンマーク）

ホルメン地区の魚雷船艇庫

船艇修理施設 ⇒ 集合住宅+SOHO



ホルメン地区の砲艇庫

砲艇庫 ⇒ オフィス



これらのプロジェクトのご視察は、(株)シー・ムーン企画までご相談ください。
海外視察旅行の経験豊富な担当者が、皆様のご要望に添ったオリジナリティー豊かなプログラムをご提案いたします。
ご相談は以下まで。

電話：(03) 3667-2715

メール：info@c-moon.co.jp

営業時間： 09:30~18:00 (土・日・祝日は休業)